

課方針書
(令和5年度)

シート1(看護専門学校)

課名	看護専門学校 教務課・事務局	課長名	教務課長 佐藤 典子 事務局長 水上 洋
■課の構成			
看護専門学校	19人		
【校長】	1人		
【教務課】教務課長	1人		
教務G	11人(うち再任用職員1人、会計年度任用職員1人)		
【事務局】事務局長	1人		
庶務G	5人(うち会計年度任用職員1人)		
■あるべき姿と方策			
【課のビジョン】		【課の使命】	
<p>○多様化及び高度化する看護ニーズに応えることができる優れた看護師を養成するため、在学者に適切な教育を施し、看護師資格取得を事業達成目的としている。</p> <p>○地域包括ケアを担う専門職について、量的・質的な人材の充実を図るための安定的供給源として、市民の暮らしの安全・安心の確保のため必要不可欠な機関となっている。</p>		<p>○志望動機が明確で優秀な学生の確保</p> <p>○学生への学習支援の強化と退学者等の減少</p> <p>○質の高い看護ができる看護師の養成</p> <p>○高度な看護教育実践のための教育環境の整備</p> <p>○地域に根ざした就職支援</p> <p>○看護師国家試験の全員合格</p>	
■課題の認識			
【解決すべき課題】		【課題解決のための対応方針】	
1 優秀な学生の確保 (事務局・教務課)		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校及び看護師志望者への学校案内や学校訪問において、本校の魅力ある教育内容等を積極的にPRし、優秀な学生を確保。(津島市民の学生確保も推進。) ・受験生の動向や入学生の状況により、必要に応じ入学者選抜試験の見直しを検討。 ・個々の学生に応じた学習指導等、入学後学生の支援。(新入生定数の確保、退学者・原級留置者の減少。) 	
2 実習関連施設(含津島市民病院)への就業率の向上 (教務課・事務局)		<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設との連絡・調整を図り、効果的な臨地実習や校内実習の実施。 ・津島市看護修学資金や各種奨学金の紹介、及び学内での実習関連施設の就職説明会の開催。 ・地域・行政・市民病院と協働し、学生活動の場を拡大。 	
3 高い看護実践能力を身につける教育の実施 (教務課)		<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの実施及び評価。 ・主体的な学びを引き出す関わりや、学生参加型の授業・実習の実施。 ・津島・海部地域における住民の活動や資源を活用した教育の実施。 ・国家試験出題傾向の分析、及び模擬試験の計画的実施。 ・国家試験対策補習(強化)授業の実施、及び内容の見直し。 ・学生への個別指導強化と精神的サポート。 	
4 教育環境の改善 (教務課・事務局)		<ul style="list-style-type: none"> ・教員のキャリアアップ。(研修会等への積極的参加。) ・ICTを活用し、学習を深化させていく環境の地下作り。 ・教材の整備・充実。 ・講師及び専任教員の確保。 ・施設整備の維持管理に係る財政負担の軽減を含む施設管理計画を策定し、中長期的に効率・効果的な施設管理を実施。 ・不測の状況下においても、教育や指導を継続するため、課題の提示や双方向性のある遠隔授業の実施。 	
5 看護師養成を巡る動向や学校運営の在り方の方針を踏まえた事業実施 (事務局・教務課)		<ul style="list-style-type: none"> ・他者評価を活かした学校運営力の向上 ・看護師養成教育の現状や看護師の需給状況等を踏まえ、当面の間は直営での存続と定めた方針に基づき、事業を実施。 	

■方向性の設定

【重点方針】

- 優秀な学生の確保。
- 津島市民の学生確保。
- 看護学校PRの推進。
- 個々の学生に応じた学習・支援の強化。
- 津島市民病院等、実習施設への就職率の向上。
- 新カリキュラムの実施及び評価。
- 主体的な学びを引き出す関わりや、学生参加型の授業・実習の実施。
- 看護師国家試験の全員合格。
- 教員の教育力の強化。
- ICTを活用し、学習を深化させていく環境の下地作り。
- 不測の状況下においても、教育や指導を継続するための課題の提示や、双方向性のある遠隔授業の実施。
- 看護師養成教育の動向や当校施設の老朽化による整備等を念頭に置き、「市立」としての事業継続の方向性検討。

【事務事業一覧】

優先順位	事務事業名	事業概要	施策コード	SDGs目標
1	看護師養成事業	<p>・地域の保健医療福祉を担う看護師を養成するため、優秀な学生を確保し、国家試験全員合格及び市民病院への就職率の向上を図る。</p> <p>そのため、学生及び専任教員に対し、</p> <p>①学生に十分な教育活動ができるよう、ICT環境及び教材備品等を整備</p> <p>②教員の教育力の向上のため研究活動を支援</p> <p>③市民病院や地域関連施設との連携を深め、充実した臨地実習の実施</p> <p>④不測の状況下においても、教育や指導を継続するための課題の提示や、双方向性のある遠隔授業を実施する。</p> <p>・看護師養成事業の市としてのあり方を、関係各部署と連携して引き続き検討する。</p>	124	4 質の高い教育をみんなに
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				